

「わが街健康プロジェクト。PRポスター」

大槇さん(県立大2年)がグランプリ

市民に地域医療への理解や健康増進の意識を高めてもらうと、倉敷市などの20医療機関が連携して取り組む「わが街健康プロジェクト」。そのPRポスターのコンテストで、最優秀のグランプリに県立大デザイン学部2年大槇美穂さん(20)が選ばれた。(大石哲也)

コンテストは「医療機関 ある川崎医療福祉大と県立大と上手に付き合う」をテーマ。大の学生計93人が1点ずつマに、デザイン系の学科が応募。表現力やデザイン性



わが街健康プロジェクト。

グランプリに選ばれた大槇さんの作品



大槇美穂さん

を基準に事務局が審査した。グランプリ1点と優秀賞5点、サポーター賞1点を選び、9日に市民会館(同市本町)で表彰式を行った。

大槇さんの作品は、「こんなとき、どこの病院にいけばいいの?」と問い掛ける困り顔の女性をシンプルなたッチで描き、「プロジェクトの意義が簡潔に、印象深く表現されている」と評価された。大槇さんは「日頃から医

医療知る大切さ訴え

療について知ることの大切さを伝えたかった」と話す。

大槇さんと、優秀賞のうち上位2人に選ばれた川崎医療福祉大3年尾崎亜美さん(21)と県立大2年大西沙織さん(20)の作品は、公式ポスターに認定。4月から1年間、プロジェクトに参画する医療機関などで活用される。

プロジェクトは、倉敷中央病院などが地域医療の在り方を市民とともに考えようと2013年にスタート。医療、健康に関する講演会や意見交換会を定期的に開いている。他の入賞者は次の皆さん。(敬称略)

- 【優秀賞】安藤潤(川崎医療福祉大) 森岡美里(県立大) 西村百花(同)
- 【サポーター賞】濱田萌(川崎医療福祉大)